

第6期 JSDA キャピタルマーケットフォーラム 研究委員OB・OG報告会（第2回）の様態について

2025 年 7 月 18 日

日 本 証 券 業 協 会

<会合の概要>

2025 年 7 月 4 日（金）、第6期 JSDA キャピタルマーケットフォーラム研究委員OB・OG報告会の第2回会合を開催した。

今回の会合では、2名の研究者より近時の研究内容について報告が行われた。

発表者 慶應義塾大学 沖本 竜義 教授（第1期研究委員）

テーマ：ESG投資の有効性とESGの市場評価

ディスカッサント：成蹊大学 伊藤 敬介 教授

発表者：京都大学 経営管理大学院 砂川 伸幸 教授（第2期研究委員）

テーマ：ESGと財務・株価パフォーマンス

ディスカッサント：甲南大学 山口 聖 教授



意見交換では、沖本教授の報告に対して、ディスカッサントである伊藤教授をはじめ、参加者から「ESG スコアや ESG 指数が、①日本株の投資リターン、②日本の社債スプレッド、③グローバルな企業価値に与える影響を検証した意義ある研究である」「この研究結果から ESG 投資に対する実務的なインプリケーションをどのように整理するか」「ESG スコアを所与のものとして分析されているが、グリーンウォッシュの影響はどのようにお考えか」「企業の ESG 評価が高まれば信用スプレッドの低下につながるメカニズムはどうなっているのか」「分析対象期間は日銀の異次元緩和期にあたるため、他の時期も調べる必要があるのではないか」などの質問や意見が寄せられ、活発な意見交換が行われた。また、砂川教授の報告に対しては、ディスカッサントである山口教授をはじめ、参加者から「日本において、ESG 投資がマーケットで評価されることを示した興味深い研究である」「ESG 指数への採用時の株価反応については、ESG に取り組むだけの余裕がある優良企業であることを市場が評価した結果ではないか」「日経平均銘柄の入れ替え時等にも見られる、いわゆる“インデックスプレミアム”との類似性があるのではないか」「イベントスタディであるため、企業の財務状況等は既に織り込み済みとのことだが、企業規模等で分類して分析してみてはどうか」といった質問や意見が寄せられ、活発な意見交換が行われた。

以 上